

三宅島帰島プログラム準備検討会報告書公表に当たって

三宅島帰島プログラム準備検討委員会報告書が取りまとめられました。内閣府、東京都、三宅村の三者で、昨年の10月以来、精力的に検討してきた成果であります。

帰島の時期等が不確定な段階で取りまとめたことから、若干抽象的な部分もありますが、帰島を視野に入れて、必要な取り組みを明確にしようとしたもので、帰島に向けた判断を行う上で、参考になるものと思います。

火山ガスの放出は自然現象ですから、正確な予測をすることは困難ですが、当分の間は放出が続くものと予測されております。しかし、「三宅島火山ガスに関する検討会」報告で提言されているリスクコミュニケーションや安全確保対策を着実に実施することによって、一定の条件の下に、帰島ができる環境が整うと考えます。その際、島民の皆さんの自助、共助の取り組みも重要であると考えます。今後、安全対策を重点に、本報告に沿った検討や取り組みを進めてまいります。

「一日も早く島に帰りたい」という、多くの願いを胸に、今後とも、島民の皆さんと行政との協働で、帰島を視野に入れた準備と環境整備を行っていききたいと思っております。

平成16年3月30日

内閣府政策統括官	尾見博武
東京都副知事	福永正通
三宅村長	平野祐康